

セッション5

召命と職業

プロジェクト

職業に関する調査

© Phyllis Crosby 2009

職業に関する調査

目的：この課題は、人生の目的は神がデザインされたことを通して示され、神が私たちそれぞれを具体的な目的のために整えてくださるという考え方に基づいています。この調査はあなたの個性や働き方について深く理解するためではありません。あなたが職業においてどのようにすれば最もよく成長していくことができるかを知るヒントとなる、あなたの「能力」、「興味」、「資源」、「機会」を見極めるためのものです。

目標：自分がどのように造られているかに照らし合わせて自分の職業について考え始め、自分の職業が人々にとっての最大限の益をもたらすことができるように、個人的に、また仕事面でどのように成長していくべきか次のステップを考慮することです。

説明：「職業に関する調査」にすべて記入します。自分がどのように造られているか、職業を選ぶ上でどのような可能性があるか、時間を取って思い巡らしましょう。そして、あなたの考えをまとめましょう。

ボーナス：「職業に関する調査」を記入し終えた後、信頼できる友人に意見を述べてもらいます。あなたのことをよく知っている人を少なくとも一人選び、その人と会う約束をし、「職業に関する調査」から発見したことをその人に分かち合います。自分が見出したことに加えて、以下の質問を用いて話し合ってみましょう。

- 私は人々のどのような必要を満たす者として造られているか。個人と社会の必要の両方について考えましょう。
- 社会の利益のために、私はどのようなことを上手に行うことができるだろうか。
- 私は何をしていると最も満足し、幸福を感じるだろうか。

職業に関する調査

自分がどのような者として造られているかに照らし合わせて職業を見極める

能力、興味、資源、機会

才能と身につけた技能：私は何が得意か？

私たちの能力は、上手にできることから成り立っています。ある能力は生まれつき与えられた才能ですが、身につけた技能もあり、その両方である場合もあります。ある人が何かに非常に優れているなら、しばしばそれは、その人が与えられた才能を伸ばすために一生懸命努力したからです。才能を伸ばしたいという願いは、私たちはたいてい上手にできることを楽しむ、という事実から生じるものです。

留意点：能力は、人間関係における能力、身体能力、知的能力、芸術的能力など、幅広い様々な領域に及びます。仕事に関係する能力だけでなく、あなたが持っているすべての能力について考えてみましょう。

1. 自分の能力を調べてみましょう

- ・自然と上手にできることを書き出しましょう。
- ・自分で伸ばしたり、身につけてきたりした技能や能力を書き出しましょう。
- ・あなたの主要な個性や人格的な長所を書き出しましょう。
- ・上記のリストを見比べて、重なることは何でしょうか。

2. 考えてみましょう

- ・あなたは何を成し遂げたときに最も満足しましたか。
- ・あなたは仕事においてどのようなことに長けていますか。余暇や趣味においてはどうですか。
- ・仕事以外の場であなたの才能はどこで用いられていますか。趣味ですか。サークル活動ですか。

3. 評価しましょう

- ・今の職場においてあなたの才能は「用いられて」いますか、それとも「用いることができない」でいますか。
- ・あなたの能力が発揮できる仕事としてどのようなものが考えられますか。あなたの個性を活かす仕事は何ですか。
- ・あなたは自分の能力をどのように伸ばしていくことに興味がありますか。
- ・もし仕事に必要な能力に欠けているなら、どのようにして身につけることができますか。
- ・シャロームを促進するために、あなたの特定の能力はどのように用いられてきましたか。そのような能力をシャロームのために用いるにはどうすればよいと思いますか。
- ・あなたの職場や町で影響力を得るには、あなたの特定の能力はどのように用いられればよいでしょうか。

4. まとめましょう

- ・この演習を通して得た洞察を書き出しましょう。

- ・あなたは職場で自分の能力を最大限に用いていますか。
- ・あなたの能力を考えると、あなたは今の仕事にふさわしいと思いますか。もしそうでないなら、どのような仕事があなたにとって最もふさわしいものだと思いますか。
- ・職業の選択に関して、もし必要なら、どのような変化をする必要がありますか。

興味：私は何が好きか

どのような仕事にも楽しめない側面はありますが、あなたの仕事にはあなたの好きなことがいくらか含まれているかもしれません。以下の質問は、あなたの願いを正直に見つめ、あなたの興味が神のデザインをどのように反映しているかについて考えることを助けるためのものです。

留意点：興味は、人間関係、身体的なこと、知的なこと、芸術的なことなど、幅広い様々な領域に及びます。仕事に関係することだけでなく、あなたが興味を抱いている様々なことについて考えてみましょう。

1. 自分の興味を調べてみましょう

- ・自分の好きなことを書き出しましょう。
- ・これをせざるにはいられない、というものを書き出しましょう。
- ・あなたの興味をそそる概念やトピックを書き出しましょう。
- ・上記のリストを見比べて、重なることは何でしょうか。

2. 考えてみましょう

- ・あなたにとって想像力を掻き立てるもの、心を奪うもの、チャレンジしたいと感じるものは何でしょうか。
- ・もっと知りたいと思う事柄は何ですか。どのような本を読むのが好きですか。
- ・自由な時間に何をするのが好きですか。
- ・仕事で最も楽しいことは何ですか。
- ・どのような趣味を持っていますか。どのようなサークルに参加していますか。

3. 評価しましょう

- ・今の職場においてあなたの興味は「用いられて」いますか、それとも「用いることができない」でいますか。
- ・どのような仕事に最も興味がありますか（お金のためではなく、仕事そのものに対して）。
- ・自分の興味をどのように追求することができるでしょうか。
- ・シャロームを促進するために、あなたの特定の興味はどのように用いられてきましたか。そのような興味をシャロームのために用いるにはどうすればよいと思いますか。
- ・あなたの職場や町で影響力を得るには、あなたの特定の興味はどのように用いられればよいでしょうか。

4. まとめましょう

- ・この演習を通して得た洞察を書き出しましょう。
- ・あなたは職場で自分の興味を最大限に用いていますか。

- ・あなたの興味を考えると、あなたは今の仕事にふさわしいと思いますか。もしそうでないなら、どのような仕事があなたにとって最もふさわしいものだと思いますか。
- ・職業の選択に関して、もし必要なら、どのような変化をする必要がありますか。

資源：私は何を持っているか？

私たちの資源はシャロームを求めるにあたって用いることのできる事柄から成り立っています。資源は外側のものであり、能力ほどには私たちがどのように造られているかを反映するものではありません。資源は物質的なものでも、非物質的なものでも、生まれつきのものであり、獲得したものでもあり得ます。資源は、量においても価値においても、増えることもあれば、減ることもあります。時間とお金は最もわかりやすい資源です。その他の資源として、知識、名声、関係、敬虔、影響力、また信頼やカリスマ性なども挙げることができます。召命に照らし合わせて自分の資源を考えるなら、自分が何を持っているか、何を必要としているか、どのように管理すべきかについて考える必要があります。

1. 自分の資源を調べてみましょう

- ・物質的な資源を書き出しましょう。
- ・非物質的な資源を書き出しましょう。
- ・シャロームを求めるにあたってどのような資源を持ちたいか書き出しましょう。

2. 考えてみましょう

- ・あなたが公式に受けた教育は何ですか。非公式に受けた教育は何ですか。どのような学位を持っていますか。
- ・あなたはどのような社会資本を持っていますか。家庭的背景、社会的な認知度、専門性などについて考えてみましょう。
- ・財政的にはどのような資源を持っていますか。
- ・あなたは何を知っていますか。どのような社会的な人脈を持っていますか（これらのことを正しく受け止めて考えてください）。
- ・あなたの職歴はどのようなものですか。

3. 評価しましょう

- ・あなたはさらに教育を受けることを計画していますか。それによってあなたの影響力はどのように増えますか。
- ・与えられた領域において専門家になるには何が必要ですか。専門家になるために意識的に取り組むべき領域はありますか。どうすればそのことを実現できるでしょうか。
- ・職業において、また社会的な活動において、どのようにすれば人間関係を発展し続けることができるでしょうか。あなたが関わっている人間関係のネットワーク、あるいは個人に対してどのような価値を加えることができるでしょうか。
- ・シャロームを促進するために、金銭をどのように使い、投資し、与えるべきでしょうか。
- ・召命を追求するにあたり、自分の職業をどのように伸ばせば最も活用することができるでしょうか。

4. まとめましょう

- ・この演習を通して得た洞察を書き出しましょう。
- ・あなたは職業において、自分の資源をどのように用いていますか。
- ・職業の選択に関して、もし必要なら、どのような変化をする必要がありますか。

機会：

私たちの召命は、私たちの生きている時代と、私たちの前に現れる機会とによって形づくられます。時には、私たちの興味や能力よりも、私たちの人生に訪れる機会のほうを優先する場合があります。しばしば、与えられた状況における神の目的を後で振り返ってから分かることがあります。私たちの前に訪れる機会が喜ばしいものでなかったり、避けることができなかつたりするときは、特にそうです。仕事や召命を、広く人々の益となるための方法であると見るなら、自分の満足と人々の益とのどちらを選ぶべきか考えることになるかもしれません。

1. 自分に与えられている機会を調べてみましょう

機会は突然、前ぶれなしに訪れることがあるので、あなたが直面している機会を調べるのは簡単ではないかもしれません。

- ・今、与えられている特別な機会についてすべて書き出しましょう。
- ・あなたの町に存在する、福音による解決が必要な特定の課題や必要について書き出しましょう。

2. 考えてみましょう

- ・あなたはどのような社会的課題に取り組むべき立場にいますか。
- ・あなたの影響力や生産性を高めることを助ける、どのような職業的な機会が与えられていますか。
- ・あなたの影響力や生産性を高めることを助ける、どのような社会的な機会が与えられていますか。
- ・あなたの社会資本を築くことを助けるどのような機会が与えられていますか。

3. 評価しましょう

- ・シャロームを築くために、あなたがしなければできないことは何ですか。

4. まとめましょう

- ・この演習を通して得た洞察を書き出しましょう。
- ・あなたは職業において、自分の機会をどのように用いていますか。
- ・職業の選択に関して、もし必要なら、どのような変化をする必要がありますか。